

2021・小学校低学年「みずをくむプリンセス」

この本をえらんだりゆうは、だからです。

この本を読むまで「水がない生活」について あまり考えたことがありませんでした / 知りませんでした。

私はこの本を読んで

ということにおどろきました / 考えさせられました / 信じられない気持ちになりました。

なぜなら、だからです。

今の私たちの生活では水道から水が出るのがあたりまえに思っています。もし水が出なかったら、きっと

(水がない生活の中の不便な点やこまったこと)じゃないかと思いました。

私は、(水がない生活に感じること / 考えること)

だと思いました。

主人公 / ジージー は、朝早くからおそくなるまで水くみをしなくてははいけません。もし私なら、

毎日長いきよりを歩くのは～ / 学校も行けずに水くみだけするのは～だと思いました。

主人公 / ジージー のことを家族は「プリンセス」と呼ぶけれど、私の考える / イメージする「プリンセス」は
です。

どうして「プリンセス」と呼ぶのか、私はだと思いました。

この本をよむ前は、「自由に / 好きなだけ / 苦労をしないで 水が使える生活」について、

だと思いました。

でもこの本をよんで

と言うことを知って

だと思いました。

水と同じように、電気や食べものも、かんたんに / 何にもしなくても / まほうのように 出てくるものではない

ということを考えました。私たちが手にするもの / 食べるもの / べんりに使うものは、

だと思いました。

これからは水を使ったり、飲んだりするときに、

について考えたいと思います / 思い出したいと思います。

そして、これから 主人公 / ジージー のような生活をしている人たちがもっとべんりに / ラクをして / 安全に

生活ができるように、

になったらいいなと思いました。